



2025～26 年度
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

Weekly Report Niigata



2025～26 年度
新潟ロータリークラブ会長

佐藤 邦栄

新潟 RC 6 月第 3 例会 (2026.6.16) No.3606

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 会長の時間 (佐藤 邦栄会長)

先週の例会で話をした、ASPAC (JCI Asia-Pacific Conference) 新潟大会は、世界 48 カ国から海外 3,000 人を含む総勢 8,000 人以上が朱鷺メッセに集結し、新潟市史上最大規模の国際会議として大盛況のうちに幕を閉じました。また、大会期間中の週末 (13 日・14 日) には、新潟駅、万代、古町、やすらぎ堤などの「にいがた 2km」エリアを中心に、市民参加型イベント「NIIGATA ULTRA SPARK (ウルスパ)」が同時開催され、本町通りを優しく照らした「千灯まつり」、万代シティを熱気に包んだ「ウルスパ総踊り」、信濃川のやすらぎ堤で音楽と光が融合した「PEACE BANK」、みなとぴあのプロジェクションマッピングなど、多くのイベントが開催され、新潟市が熱気に包まれ、参加された会員の皆様も多くいらっしやっただと思います。経済効果は、13～14 億円と言われており、この大会を契機に新潟市がさらに盛り上がっていくことを願っています。

また、6 月 13 日から 17 日にかけて開催された台北国際ロータリー年次大会 (台湾) は、世界中から約 37,000 人もものロータリアンが集結し、凄まじい熱気とホスピタリティに包まれた素晴らしい大会となりました。

当クラブからは、高橋パストガバナーご夫妻にご参加いただきました。台湾での開催は 1994 年以来、32 年ぶり 2 回目であり、「台北ドーム」での華やかな開・閉幕式、ノーベル平和賞受賞者のマララ・ユスフザイさんの基調講演、多彩な親睦・奉仕イベントが催されたようです。日本からも非常にアクセスが良い立地ということもあり、多くの日本のメンバーも参加され、久しぶりの再会や新たな国際的ネットワークを広げる最高の 5 日間となったようです。台北の街全体の活気と、台湾ロータリアンの熱いエネルギーが記憶に残る、極めて成功裏な大会になったとのこと。来年は、スペインのバルセロナとのこと。以上で会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(3) 退会ご挨拶（会長よりバナー贈呈）

(株)第四北越銀行 常務取締役 廣田 徹君

(4) 健康自転車同好会報告（高橋 秀松君）

6月14日（日）第1回例会を開催致しました。
新潟一周、約30Kmを散策もかねてサイクリング
しました。参加者は同好会会長の織戸さん、坂井
さん、梅澤さん、大竹さん、櫻井さん、高橋の
5名。快晴の中、初夏の一日を満喫することが
出来ました。夜は近くの居酒屋で里仙、佐藤さん
も加わり大宴会でした。乾いた喉にビールが美味
しかったです。



(6) ニコニコボックス紹介（野澤 勝副委員長）

・社会奉仕委員 先日、遅ればせながら社会奉仕
委員会のファイアースイドミーティングを退会が
決まった平形尚久委員を含め盛大に実施しまし
た。みんなニコニコでした。

・石橋 正利君 天命学を学び、からす神社に行
って来ました。新潟から名古屋まで。

(7) 会員スピーチ

「天命完遂に向け、

笑顔で喜寿（77歳）の今を生きる！」

石橋 正利新潟総合研究所取締役会長

6月16日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
78	77	51	66.23%

Zoom参加 9名

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(永井 修委員)

廣田 徹君 永井 修君
坂井 賢一君 本多 晃君
佐藤 紳一君

米山奨学会寄付発表(村山洋一郎委員)

廣田 徹君 五十嵐弘幸君
村山洋一郎君

青少年育成基金寄付発表（佐藤 明委員）

廣田 徹君 野澤 勝君
五十嵐弘幸君 本間 彊君

6月23日の例会プログラム

会員スピーチ

「松下政経塾とは何ぞや？」

黒田 達也開志創造大学学長

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>